

平成27年第1回定例会（2月議会）

予算特別委員会農林水産分科会
付託議案関係資料

（補正予算関係）

平成27年2月16日

農 林 水 産 部

目 次

1	農林漁業振興臨時対策基金積立金〔農林政策課〕	1
2	日本型直接支払交付金事業（多面的機能）〔農山村振興課〕	2
3	土地改良諸費〔農地整備課〕	3
4	農林水産公共事業〔農地整備課〕	4
5	林業公社事業〔林業木材産業課〕	5

1 農林漁業振興臨時対策基金積立金

農林政策課

1 補正内容

単位：千円

事業内訳	予算現計	補正額	補正後
(1) 基金積立金	2,500,000	2,500,000	5,000,000
(2) 基金積立金（運用益分）	1,210	0	1,210
合計	2,501,210	2,500,000	5,001,210

2 事業内容

(1) 基金積立金

「農政改革対応プラン」（平成26～29年度までの4年間）に基づく事業を緊急かつ集中的に実施するため、25億円の積み増しを行う。

農政改革対応プラン (H26～29年度の所要額) ①	H26.6月現計 ②	H26.6月補正 積み増し額③	H27.2月補正額 ①－②－③
80億円	30億円	25億円	25億円

3 予算額

2,500,000千円（一般財源）

（積立金 2,500,000千円）

【参考】今年度の主な取組状況

- 1 強い担い手づくり
 - ・ 60経営体で「攻めの経営発展計画」を策定
〈野菜・花きの生産拡大等〉
- 2 複合型生産構造への転換
 - ・ 3地区で園芸メガ団地の整備に着手
〈能代市轟地区(ねぎ)、男鹿・潟上地区(菊)、大仙市中仙中央地区(トマト)における生産団地の整備〉
 - ・ 県産牛ブランド「秋田牛」が本格デビュー
〈秋田牛ブランド推進協議会の設立、県内外でのデビューイベントの開催等〉
- 3 中山間地域対策
 - ・ 中山間の10地域で「地域資源活用プラン」を策定
〈水田の畑地化によるリンドウ、アスパラガスの生産等〉
- 4 構造改革を支える水田対策
 - ・ あきた米の新たな販促活動
〈家電メーカーと連携した販促、あきたこまち30周年プロモーション等〉

2 日本型直接支払交付金事業（多面的機能）

農山村振興課

1 補正内容

単位：千円

事業内訳	予算現計	補正額	補正後
(1) 農地維持支払交付金	675,000	△ 66,820	608,180
(2) 資源向上支払交付金(共同活動)	459,500	△ 99,903	359,597
(3) 資源向上支払交付金(長寿命化)	46,000	△ 906	45,094
(4) 多面的機能支払推進交付金	70,000	△ 27,745	42,255
計	1,250,500	△195,374	1,055,126

2 事業内容

(1) 農地維持支払交付金

ア 事業概要

農地法面の草刈り、水路の泥上げ等の多面的機能を支える共同活動を支援する。

イ 補正理由

特に県北地域では、平成25年豪雨災害で被災した農地の復旧の遅れ等から今年度取り組めなかったこと、また、その他の地域においても、地元の体制づくりが遅れ、合意形成まで至らなかったことによる減

(計画 97,300ha → 実績見込 87,771ha (△ 9,529ha))

(2) 資源向上支払交付金(共同活動)

ア 事業概要

農地、水路、農道等の軽微な補修等を行う共同活動を支援する。

イ 補正理由

特に県北地域では、平成25年豪雨災害で被災した農地の復旧の遅れ等から今年度取り組めなかったこと、また、その他の地域においても、地元の体制づくりが遅れ、合意形成まで至らなかったことによる減

(計画 97,300ha → 実績見込 80,562ha (△ 16,738ha))

(3) 資源向上支払交付金(長寿命化)

ア 事業概要

老朽化した水路、農道等の更新など、施設の長寿命化のための活動を支援する。

イ 補正理由

事業実績の確定による減

(計画 4,200ha → 実績見込 4,153ha (△ 47ha))

(4) 多面的機能支払推進交付金

ア 事業概要

県、市町村が行う交付金の交付事務等の適正かつ円滑な実施を促進する。

イ 補正理由

市町村事務費の確定による減

3 土地改良諸費 (仙北農村整備第二課の移転について)

農地整備課

仙北地域振興局農林部農村整備第二課（旧仙北平野土地改良事務所）は、築造から45年が経過し老朽化が顕著であること、また、仙北地域振興局庁舎に空きスペースがあることを踏まえ、仙北地域振興局庁舎への移転及び現事務所建物の解体撤去を行う。

1 実施内容

- (1) 事務所備品等の移設
- (2) 事務所解体工事設計

2 予算額

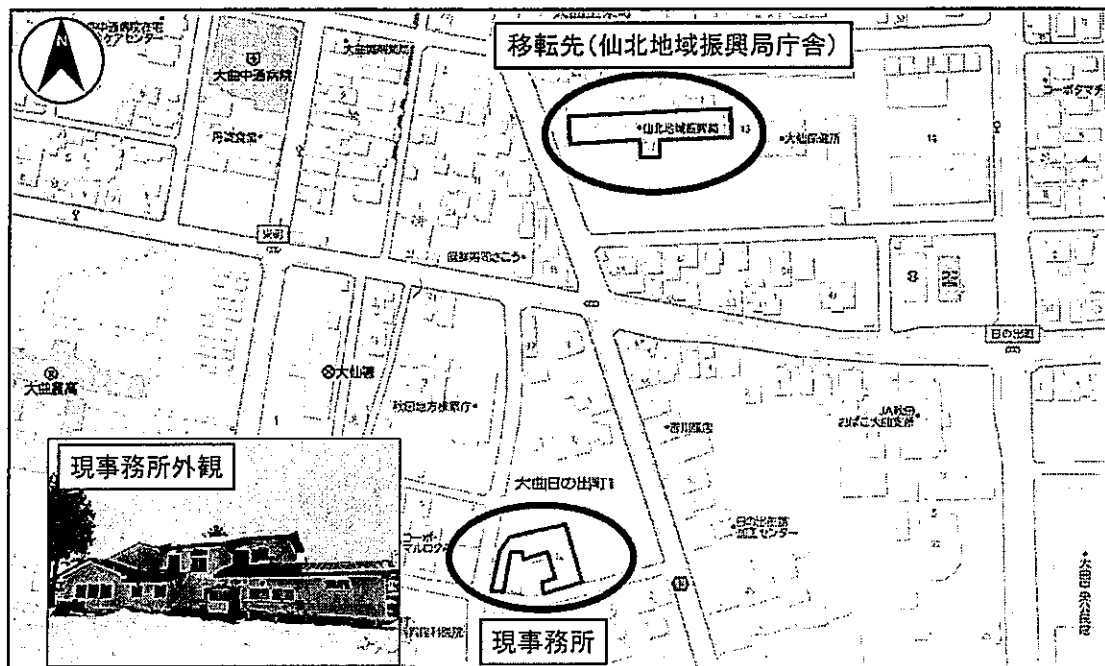
2, 3 3 4 千円（一般財源）

(1) : 1, 5 1 2 千円（委託料 1, 5 1 2 千円）

(2) : 8 2 2 千円（委託料 8 2 2 千円）債務負担行為限度額を設定

【参考】

1 位置図



2 移転スケジュール

- ・ 27年3月 職員・事務所備品の移転
- ・ 27年3～6月 現事務所の解体工事設計業務
- ・ 27年8～11月 現事務所の解体工事（27当初予算に計上）

4 農林水産公共事業

農地整備課
水産漁港課
森林整備課

農林水産公共事業の国庫補助事業については、国庫補助金の割当が不足したのものや、他事業により対応したもの等があったことから、次のとおり減額する。

1 土地改良・農地防災

(単位:千円)

事業名	予算現計	補正額	補正後	補正理由
経営体育成基盤整備事業	5,436,082	△256,256	5,179,826	国庫補助金の割当不足による減
基幹水利施設ストックマネジメント事業	1,302,939	△534,440	768,499	自主事業での対応による減
県営ため池等整備事業	1,059,580	△64,460	995,120	国庫補助金の割当不足による減
戦略作物生産拡大基盤整備促進事業	1,042,950	△664,950	378,000	国の直接補助事業での対応による減
その他	2,180,310	△175,269	2,005,041	災害対象箇所無しによる減等
計	11,021,861	△1,695,375	9,326,486	

2 水産基盤

(単位:千円)

事業名	予算現計	補正額	補正後	補正理由
水産物供給基盤整備事業	896,500	△22,927	873,573	工法変更等による減
水産環境整備事業	222,700	△2,012	220,688	請差等による減
漁港漁村活性化対策事業	54,000	△25,800	28,200	津波避難タワー建設先送りによる減
その他	392,200	△30,000	362,200	災害対象箇所無しによる減
計	1,565,400	△80,739	1,484,661	

3 林 野

(単位:千円)

事業名	予算現計	補正額	補正後	補正理由
造林補助事業	1,851,714	0	1,851,714	
治山事業	4,222,575	△1,371,785	2,850,790	国庫補助金の割当不足による減
林道事業	864,812	△166,245	698,567	国庫補助金の割当不足による減
その他	147,000	△147,000	0	災害対象箇所無しによる減
計	7,086,101	△1,685,030	5,401,071	

5 林業公社事業

【林業開発基金積立金】

林業木材産業課

1 補正内容 単位：千円

事業内訳	予算現計	補正額	補正後
林業公社事業	608,665	102,538	711,203

2 事業内容

(公財) 秋田県林業公社の経営の健全化を図るため、日本政策金融公庫借入金の繰上償還に係る経費を、秋田県林業開発基金に積み立てる。

(1) 補正理由

将来の順調な成育が見込めない不採算林のうち、土地所有者の同意が整った箇所に係る借入金を、速やかに繰上償還することにより、林業公社の将来利息を軽減するため。

(2) 繰上償還の内容

- ・ 不採算林 35箇所、178ha
- ・ 償還額 102,538千円
- ・ 借入年度 昭和62年度～平成4年度
- ・ 借入利率 3.5%～6.5%
- ・ 将来利息軽減額 83,575千円

【参考】全体計画

償還年度	平成26年度 (2月補正分)	平成27年度	平成28年度	合計
不採算林(箇所数)	35	123	148	306
繰上償還額(億円)	1.0	2.5	2.1	5.6

※ 将来利息の軽減額は5億円程度

3 事業主体

県(公庫への繰上償還は林業公社が実施)

4 予算額

102,538千円 {

 財産収入 971千円
 一般財源 101,567千円

(積立金 102,538千円)